



12月定例会 11月28日～12月18日

11月15日と18日に議会報告会を行いました。多くの方にご参加いただきありがとうございます。議会活動の報告と意見交換会を行い、いただいたご意見は、今後の議会活動に活かしてまいります。

主な内容

- | | | | |
|------------------|-----|---------------------|-------|
| ● 議会報告会..... | 2～3 | ● 26年中の議会活動 | 7 |
| ● 本会議のあらまし..... | 4 | ● 議案の内容..... | 8 |
| ● 決算特別委員会審査..... | 5 | ● 審議した議案とその結果..... | 9 |
| ● 質疑・討論..... | 6 | ● 一般質問..... | 10～13 |
| ● 議会の動き..... | 6 | ● 常任委員会視察..... | 14～15 |
| ● 意見書..... | 7 | ● 教育民生委員会市内視察 | 16 |
| ● 請願審査..... | 7 | ● 編集後記 | 16 |

平成26年度

議会報告会を開催しました

議会報告会の概要

議会基本条例に基づく議会報告会を昨年11月15日、18日に6会場で開催し、総計200名の参加をいただきました。

今回で4回目となる議会報告会は、各常任委員会から定例会の審議の報告を行い、その後、質疑応答を行いました。

日ごろの議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を議会として直接伺い、議会審議の活性化につなげてまいります。

開催日	会 場	参加人数
11月15日(土)	ひまわりセンター	41人
	城坤コミュニティセンター	20人
	岡田コミュニティセンター	58人
11月18日(火)	飯山北コミュニティセンター	23人
	本島市民センター	20人
	JA香川県丸亀支店	38人

報告会での主な質疑

Q 城内球場はいつまであるのか。
A 来年度中は稼働し、28年度以降は石垣の集積地となる予定である。

Q お城の前に物産館をつくり、観光の発信地としては。
A 市庁舎整備なども含め、検討中である。

Q 地域の集会場にも食料などの物資を備蓄できないか。
A 場所や費用面など検討しなければならぬことも多い。

Q 政務活動費の額と現状は。
A 年間24万円で、すべての領収書を添付し、市の監査も受けている。

Q 本島コミュニティバスの運行がなぜ変更になったのか。
A 将来的に考えなければならぬ。運行便は自治会長会などで協議した。

Q 議会から市へ自治会加入への積極的な取り組みを働きかけてほしい。
A 市へ伝える。

A 市へ伝える。



岡田コミュニティセンター



城坤コミュニティセンター



ひまわりセンター



JA香川県丸亀支店



本島市民センター

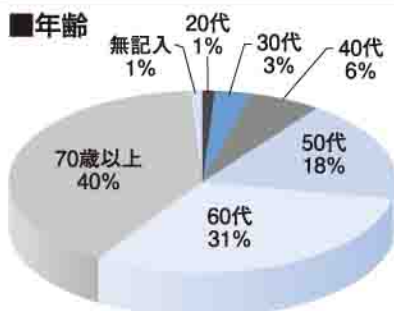


飯山北コミュニティセンター

各会場のアンケートから

回答総数 146（回収率：73%） 配布人数 200人（平均33.3人／会場）

■年齢



20代	2
30代	4
40代	9
50代	26
60代	45
70歳以上	59
無記入	1

■性別



男	111
女	29
無記入	6

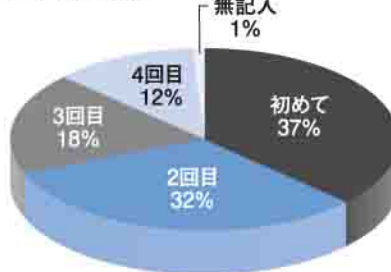
■議会報告会を知ったきっかけ (複数回答)



広報紙	41
知人	71
ポスター	30
チラシ	23
その他	16
無回答	3

その他：新聞、HP、コミュニティ、自治会、職場

■参加回数

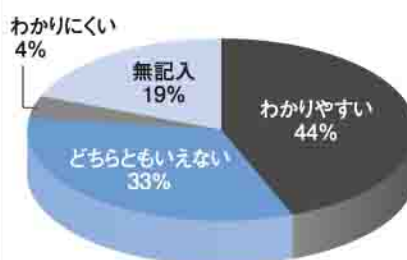


初めて	54
2回目	47
3回目	26
4回目	17
無記入	2

ありがとうございました

報告会やアンケートでいただいたご意見やご要望などは議会で精査し、必要なものは市長に伝えるなど、責任を持って対応いたします。

■内容の評価



わかりやすい	64
どちらともいえない	48
わかりにくい	6
無記入	28

アンケートの主な意見

- ・市政に対する意見を述べるこ
とができるいい機会である
- ・市民の意見も、もう少し要点
を絞って聞いたほうがよい
- ・もっとたくさんの人に来ても
らうように努力してほしい
- ・報告内容をもう少し詳しく
- ・一人の質問者に時間を取り過
ぎ。司会者をもっとしつかり
対応してほしい
- ・若い人が少ない
- ・6月定例会流会のことを少し
でも説明すべきだった
- ・議会改革についても時間を取
ってほしい
- ・もっと議員との交流の場が増
えればよい
- ・政務活動費について、更なる
透明性の確保を
- ・やむをえない理由があったと
は思うが、議員間のトラブル
を市民に及ぼさないで
- ・大変厳しい意見も出たが、多
くの問題に取り組み、忙しい
日々を過ごされていると思う
- ・議員全員が意見を
- ・特定の人の発言が長かった
- ・一方的な意見が多かった
- ・開催回数を増やしてほしい

12月定例会

議員定数削減条例を議員提案

閉会中の継続審査へ

本会議の あらまし

12月定例会は11月28日から12月18日まで、21日間の会期で開かれました。

初日は請願第4号と第5号を都市経済委員会に、請願第6号と第7号を総務委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた平成25年度決算認定議案の審査結果について、各決算特別委員長からそれぞれ原案承認の報告がありました。

一般会計及び各特別会計決算、企業会計決算に対し、それぞれ1名から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数で両議案を委員長報告のとおり可決、認定しました。

続いて、議案第94号の一般会計補正予算を承認し、議案第95

号から第114号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明がありました。続いて議案第115号の山林組合選挙を行い、2名の議員を選出しました。

12月2日は、議案第95号から第114号までについて、2名が質疑を行った後、所管の常任委員会に付託しました。

3～5日、8日は、市政全般について19名が一般質問に立ちました。

9日に都市経済と総務、10日に教育民生と生活環境の各常任委員会が開かれ、所管事項について議案と請願を審査しました。

18日の最終日は、各常任委員会に付託していた議案と請願の審査結果について各委員長から報告がありました。

議案はすべて原案承認、請願はすべて不採択であり、1議員から議案に対しての反対討論と請願の採択を求める討論があ

り、起立採決の結果、賛成多数で議案を原案のとおり可決、請願を不採択としました。

その後、意見書4件を可決し、関係機関に送付することを議決しました。

最後に、議員定数を2名削減する内容の議員提出議案第4号を議題とし、提出者から提案理由の説明の後、閉会中の継続審査とすることとしました。

以上で、今期定例会を閉会しました。

人事案件

▼まんのう町外三ヶ市町山林組合及びまんのう町外三ヶ市町(七箇地区)山林組合議会議員
垂水町 尾松 正平さん
垂水町 奥田 道大さん

議会を

傍聴しませんか

丸亀市議会では、年4回定例会が開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。詳しくは議会事務局へ

(TEL 24-8828)

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中継ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ
トップ左列

●丸亀市議会

→ インターネット中継(外部リンク)

クリック



平成25年度決算 原案認定

9月議会で設置された2つの
決算特別委員会で、閉会中の継
続審査となっていた平成25年度
決算審査の結果が各委員長から
報告され、討論、採決を経て、
決算は可決、認定されました。

一般・各特別会計 決算特別委員会

9月3日・10月2日・3日・
6日・7日

■主な質疑

- 基金保管状況の債券で、国債がない理由は
- 教育施設の電力入札で、どのくらいコスト削減になったのか
- 入学貸付金の利用状況は
- 教育クラウドが整備されたが、教員の事務量は軽減したのか
- ため池ハザードマップで、どのような成果があったのか
- 企業誘致や新規産業創出について、市長がトップセールスをするべきではないか
- 猪熊美術館の昨年度の入館者数は
- 丸亀商工会議所融資事務業務

委託料220万円の根拠は

- 消防団の今後の団員補充見込みは
- 災害や水防時における消防団員の待機ルールは
- 1人当たりの公園面積が減少している理由は
- 合併処理浄化槽の設置基数が増加した理由は
- 今後の駐車場施策の方針は
- 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金で、具体的にどのような改善効果があったのか
- ファミリールーム・サポート・センター、病児病後児保育、一時預かり事業が十分利用されていないが、その要因は
- 資源ごみ収集率とリサイクル率が低下している理由は
- カマタマーレ讃岐は、どのような地域貢献や青少年の健全育成の取り組みをしたのか
- アーキビストの配置について
- 車体広告業務の委託先は
- 情報公開の件数と、どういった内容が多かったのか
- 若手職員まちづくり研究チームの活動成果は

企業会計 決算特別委員会

9月3日・10月1日

■主な質疑

- ジェネリック医薬品利用促進に、どのように取り組んだか
- 若返り筋トレ教室を今後増やす考えはあるか
- 老人クラブ加入促進に、どのように取り組んだか
- 議長交際費はどういったことに使っているのか
- 大きなレースと一般競走では収益率に違いはあるのか
- ファミリールームが完成し、ファミリールームの来場促進に効果があったのか
- 競艇事業局の監査体制はどうなっているのか
- ファミリールームのファン獲得に力を入れているが、青少年健全育成との線引きは
- 老朽管の更新計画はどうなっているか
- 営業費用のうち、減価償却費が大きいのが、今後も同程度計上されるのか
- 料金徴収業務委託で停水執行件数が増加しているが、生活困窮者への対応は

討論

決算に関する

議案に
賛成×反対の
意見を表明します。



《反対討論》 中谷真裕美

認定第1号「一般・各特別会計
決算」(人権問題推進活動委託
料、人権問題交流学習事業委託
料、ごみ・し尿収集業務委託
料、総合運動公園野球場整備事
業費、図書館運営業務委託料、
移動図書館車運行業務委託料、
学校給食センター調理等業務委
託料)、国民健康保険税の値上げ
理由 人権関係委託料の委託の
経緯に反対。野球場建設に疑
問。職員削減、民間委託に反
対。国保税値上げに反対。

《反対討論》 中谷真裕美
①議案第76号「水道事業会計決
算」②議案第77号「競艇事業会
計決算」
理由 水道事業の民間委託は、
職員の業務継承や危機管理の面
に不安があり反対。幼い子供た
ちも含めた青少年を対象にした
競艇事業の新しいファン層獲得
戦略に反対。

質疑

質問者・項目

太字の項目は要約文を掲載

三木まり

- ①放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定、放課後留守家庭児童会条例の一部改正
- ②図書館等業務委託料、合併10周年記念事業③大手町第一駐車場ほか6施設の指定管理者の指定

中谷真裕美

水道事業給水条例の一部改正

図書館業務委託 運営の方向性は

【A】三木議員 直営が望ましいと図書館協議会から答申されている図書館運営について、なぜこの時期に補正するのか。また、今後の方向性は。

【A】教育部長 平成27年度からの窓口等運営業務を継続して委託するため、今議会で債務負担行為の追加補正措置をお願いするもの。将来の図書館業務の運営

のあり方などの検討も含め、すべての市民に身近で優しい図書館づくりに努める。協議会からの答申は承知しているが、現在は窓口事務に限定した直営体制での委託である。なお、この2年間で再検討し、適正な運営について研究したい。

水道料金改定

目的と広域化の関係は

【B】中谷議員 平均10・4%の値上げ内容と基本料金制へ移行目的は。また水道広域化の議論があるが、平成31年度までに再値上げにつながるのではないかと。

【A】建設水道部長 現在の制度は口径の小さい水道管で不公平性があり、大きい口径では、二つの料金制度が存在する。今回の改正で、使用水量に応じた水道料金となり、多くの市民が使用している口径25ミリメートル以下で使用水量の少ない家庭では、平均改定率を下回る料金となる。仮に本市が水道広域化に参画した場合でも、この期間中、平成31年度までは、今回の経緯を説明し、値上げしないように強く主張していく。

討論

議案に賛成×反対の意見を表明します。



《反対討論》 尾崎淳一郎

議案第95号 一般会計予算(綾歌図書館窓口等運営業務委託料)

理由 3館の図書館がばらばらに運営されており、図書館協議会からも直営で運営すべきとの答申が出されている。業務委託料も上がり続けており、図書館運営は直営にすべきと考えるため反対する。

《討論》 尾崎淳一郎

請願第4号 政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出を求める請願の採択を求める
請願第5号 農業委員会、企業の農地所有、農協改革など「農業改革」に関する意見書の提出を求める請願の採択を求める

請願第6号 「消費増税の撤回を求める」意見書提出を求める請願の採択を求める

請願第7号 年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める意見書の提出を求める請願の採択を求める

議会の動き

1日 企業会計決算特別委員会
2日 一般会計決算特別委員会

10月

3日 一般会計決算特別委員会
6日 一般会計決算特別委員会
7日 一般会計決算特別委員会
14日 広報広聴委員会
20日 教育民生委員会視察(20)

24日 議会改革特別委員会

31日 広報広聴委員会

4日 議会運営委員会

15日 議会報告会

17日 議会報告会

18日 議会報告会

19日 教育民生委員会視察

20日 議会運営委員会

25日 議会改革特別委員会

28日 生活環境委員会協議会

12月定例会(12月18日まで)

2日 全員協議会

2日 議会運営委員会

8日 広報広聴委員会

9日 都市経済委員会

2日 総務委員会

10日 総務委員会協議会

10日 教育民生委員会

11日 生活環境委員会

11日 全員協議会

12日 各派会長会

12日 教育民生委員会協議会

18日 議会運営委員会

19日 全員協議会
議会改革特別委員会

意見書

軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書

(提出先)

内閣総理大臣 厚生労働大臣
文部科学大臣

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書

(提出先)

内閣総理大臣 総務大臣
厚生労働大臣 財務大臣
文部科学大臣 香川県知事

介護従事者の処遇改善を求める意見書

(提出先)

内閣総理大臣 財務大臣
厚生労働大臣 香川県知事

地方公共団体金融機構納付金制度の廃止に関する意見書

(提出先)

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣

請願審査結果

政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出を求める請願

農民運動香川県連合会

会長 大塚 久



農業委員会、企業の農地所有、農協改革など「農業改革」に関する意見書の提出を求める請願

農民運動香川県連合会

会長 大塚 久



「消費税増税の撤回を求める」意見書提出を求める請願

丸亀民主商工会

会長 宮武信幸



年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める意見書の提出を求める請願

年金者組合丸亀支部

支部長 高木國廣



平成26年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況			
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会 協議会等
招集回数		4	2	6回	常任委員会	総務委員会	5 10
会期延日数		63	2	65日		教育民生委員会	3 8
本会議日数		21	2	23日		都市経済委員会	3 8
						生活環境委員会	3 5
議案議決内容	議案可決	78	1	79件	特別委員会	議会改革特別委員会	12
	原案否決	0	0	0件		市庁舎整備等特別委員会	5
	原案承認	1	17	18件		一般・特会決算委員会	5
	専決承認その他計	4	3	7件		企業会計決算委員会	2
		83	21	104件	その他	全員協議会	10
選挙・選任		3	4	7件		議会運営委員会	23
請願		5	2	7件		各派会長会	23
陳情		0	0	0件		広報広聴委員会	16
決議・意見書		7	0	7件			

議案の内容

▼認定第1号 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定

平成25年度の決算について議会の認定を得るもの

▼議案第76号 水道事業会計利益の処分及び決算の認定

▼議案第77号 競艇事業会計利益の処分及び決算の認定

平成25年度決算について剰余金処分の議決と認定を得るもの

▼議案第94号 専決処分の承認について（一般会計補正予算）（第3号）

総選挙の経費を専決処分したので、承認を求めるもの

▼議案第95号 一般会計補正予算（第4号）

予算総額を431億4662万5千円とするもの

▼議案第96号 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

予算総額を136億9170万円とするもの

▼議案第97号 公共下水道特別会計補正予算（第1号）

予算総額を25億4150万円とするもの

▼議案第98号 駐車場特別会計補正予算（第1号）

指定管理料の後年度における負担の限度額を定めるもの

▼議案第99号 介護保険特別会計補正予算（第2号）

予算総額を81億9931万円とするもの

▼議案第100号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

▼議案第101号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼議案第102号 職員の給与に関する条例の一部改正

▼議案第103号 モーターボート競走事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正

一般職の職員の給料、勤勉手当等について人事院勧告に準拠した改正と、併せて特別職の手当も改正するもの

▼議案第104号 国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の加算額の変更と、出産育児一時金について所要の改正を行うもの

▼議案第105号 水道事業給水条例の一部改正

4月から、10・4%の料金改

定と、基本料金制へ改めるもの

▼議案第106号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

児童扶養手当法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

議案の内容・結果

▼議案第107号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

▼議案第108号 放課後留守家庭児童会条例の一部改正

児童福祉法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

▼議案第109号 第111号 指定管理者の指定（広島デザインサービスセンター、大手町第一駐車場ほか6施設、駅南第二自転車駐車場ほか4施設）

平成27年度から指定管理者となるべき団体を選定したので、指定について議決を求めるもの

▼議案第112号 字の区域の変更（綾歌町岡田東字北原ほか2区域）

新字界を定めるものについて、議会の議決を求めるもの

▼議案第113号 城東町東西2号線の市道路線廃止

市道隣接地の払下げ要望があり、市道を廃止するもの

▼議案第114号 中讃広域行政事務組合規約の一部変更

▼議案第115号 山林組合議会議員の選挙

組合議会の選挙を行うもの

▼意見書案第4号 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書

▼意見書案第5号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書

▼意見書案第6号 介護従事者の処遇改善を求める意見書

▼意見書案第7号 地方公共団体金融機構納付金制度の廃止に関する意見書

▼請願第4号 政府による緊急の過剰米処理を求める意見書の提出を求める請願

▼請願第5号 農業委員会、企業の農地所有、農協改革など「農業改革」に関する意見書の提出を求める請願

▼請願第6号 「消費税増税の撤回を求める」意見書提出を求める請願

▼請願第7号 年金削減の取りやめと最低保障年金の実現を求める意見書の提出を求める請願

▼議員定数条例の一部改正

議員定数を27人から25人に削減するもの

平成26年 12月定例会

審議した議案とその結果

議案番号	議員名 審議 結果	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
		川田	真鍋	松永	水本	佐野	神田	多田	小橋	山本	岡田	大前	三宅	中谷真裕美	尾崎淳一郎	加藤正員	藤田伸二	小野健一	高木新仁	三谷節三	福部正人	内田俊英	国方功夫	片山圭之	松浦正武	横川重行	三木まり	
		匡文	順穂	恭二	徹雄	大輔	泰孝	光廣	清信	直久	剛	誠治	真弓															
認定第1号	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	議長のため採決に参加せず	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第109号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第110号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第111号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第112号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第113号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第114号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第115号	選 挙																											
意見書案第4号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案第5号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案第6号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案第7号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
請願第4号	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●		●	●	●	●	●	○	○	○	
請願第5号	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●		●	●	●	●	●	○	○	○	
請願第6号	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●		●	●	●	●	●	○	○	○	
請願第7号	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●		●	●	●	●	●	○	○	○	
議員提出議案第4号	継続審査																											

議長のため採決に参加せず

○は賛成、●は反対、一は除斥または欠席した者です。

一般質問

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

小橋 清信

①丸亀市行政評価（外部評価）への対応②ストップ！いじめ

加藤 正員

①第3次行政改革プラン②空き家条例③快天山古墳④国際交流

真鍋 順穂

①選挙の管理及び運営②農業政策③まちづくり政策

岡田 剛

①離島振興②人権が守られる行政の推進③正規・非正規職員の待遇の格差改善

国方 功夫

①教育問題②選挙啓発と開票事務のあり方等

小野 健一

①空き家対策

三木 まり

①水道事業の広域化に関連して②平和行政

大前 誠治

①水道広域化②職員のあり方

福部 正人

③競艇事業局④教育委員会制度①ピロリ菌の検査や除菌に対する助成等②心身障害者医療費の助成制度における対象者の負担軽減③タイムライン（事前行動計画）の策定等④福祉タクシー助成券の対象拡大等⑤自治体によるスマホのアプリ運用

神田 泰孝

①生活困窮者自立支援モデル事業②選挙の投票

尾崎淳一郎

①小規模企業振興基本法②地域担当職員制度

横川 重行

①生活習慣病・成人病予防等②インフルエンザ等感染症③介護

片山 圭之

①全国藩校サミット開催の引き受け②丸亀城大手門前の活用計画③今こそ四国新幹線実現に向けて旗揚げを

松浦 正武

①交通安全対策の現状とさらなる取り組み強化②児童・生徒の健康と食生活改善

藤田 伸二

①入学金貸付制度の改善②新年度からの市立幼稚園保育料③市民課来客用モニターの放送内容④遍路ブームを市のPRに活用する考え

る取り組み強化②児童・生徒の健康と食生活改善

水本 徹雄

①合併10周年記念事業の取り組み②市民球場の駐車場台数は足りているのか③2020年東京五輪に向けての2市1町の連携強化④県道33号線堀川橋交差点の歩道橋

内田 俊英

①地方創生「丸亀モデル」を市民総参加で②丸亀城利用環境

佐野 大輔

①情報管理等②新地方公会計

中谷真裕美

①高齢者が安心できる介護保険制度に②障害者の移動支援の充実を③水道広域化

次回

の定例会は3月上旬に開会予定です。

いじめへの対応
具体的に示せ

小橋議員 いじめが発生した場合、どのように対応しているのか。

教育長 いじめに対する基本方針で、未然防止、早期発見、措置を規定している。内容は、いじめを認知したときの対応やいじめられた児童・生徒、保護者への支援、いじめた児童・生徒への指導、保護者への助言、学級全体への指導などであり、個々のケースに応じた措置を取っている。犯罪行為であれば、警察と連携し、十分協議しながら対応している。

快天山古墳

今後の整備方針は

加藤議員 快天山古墳を守る会と教育委員会が意見交換を行い、快天山古墳整備計画の早期作成が望まれているが、今後の整備方針は。

教育部長 快天山古墳保存整備基本計画の変更について、補助金活用も含めた検討を行って

おり、今後の整備方針や管理活用について、関係団体などと継続的に協議している。また、暫定的整備を進めながら、仮設トイレや駐車場、パンフレット置き場などの本格的整備を体制を整え、検討、実施したい。

農地の流動性

どう進める

【真鍋議員】本市の農業展望として、土地改良事業と市道整備事業の拡充を求める。

【産業文化部長】本市では、各種補助制度を活用して基盤整備を推進している。土地改良事業では、市の上乗せ補助や単独市費補助事業、農道舗装などを実施している。さらに、本年度から市補助金交付要綱を改訂し、国の補助でかんがい排水事業を行った場合の受益者負担率を5%に変更するなど、農家の負担軽減に努めている。また、農道網の整備にも努めたい。

島民にとって

必要な施策を

【岡田議員】島民の生活にとつ

て必要不可欠な交通機関である航路の運賃負担を軽減させる策として、何か検討していることはあるか。

【市長】本市では医療を受ける機会を確保するため、次年度から島で暮らす妊婦の健康診査と出産時の航路運賃を助成することとで、出産を支援したいと考えている。航路運賃を含め、今後も島民の負担軽減のため、関係団体と協議し、島民の皆さんが快適に暮らせるよう取り組んでいきたい。

学校教諭の負担軽減策の一つに

【国方議員】煩雑化している学校教諭の事務を軽減する策の一つとして、部活動の指導者を外部から専門に雇う制度を考えてはどうか。

【教育長】学校教育と位置付けられ、また安全配慮義務がある部活動は、外部指導者のみでは原則できない。このため、外部指導者と顧問の先生が、役割分担を明確にして、連携と協力を図りながら指導していくことが、部活動の充実と教員の負担

軽減につながるのではないかと考えている。

空き家撤去に伴う助成制度の創設を

【小野議員】空き家対策として、特定密集地域の火災防止や災害時の避難通路の確保といった観点から、空き家撤去に関して何らかの助成を考えるべきではないか。

【市長】空き家取り壊しへの助成は、御供所町などの密集市街地の防災対策として有効であるので、本市全体の課題と位置付け、国の補助事業を活用して一定の基準を満たす危険な老朽空き家を撤去するための助成制度を確立すべく、現在、検討を行っている。

平和行政 本市の取り組みは

【三木議員】本市が行っている平和行政は、どういったことをしているのか。

【市長公室長】市役所本庁舎に非核平和宣言都市丸亀市の懸垂幕や看板を設置しているが、新

たに今年4月から飯山、綾歌市民総合センターにも設置した。また、原水爆禁止平和行進などへの支援や終戦記念日の正午に追悼サイレンを鳴らし、黙祷をささげるほか、11月には戦没者追悼式を行い、参列された方々を前に平和への誓いを新たにしている。

優秀な人材を採用するために

【大前議員】丸亀市を含め全国的に公務員志望者が減少傾向にある。現在の市職員の採用状況をどのように考えているか。

【市長公室長】本市職員の受験申込者の増加を図るため、フェイスブックの活用や就職説明会への参加など、積極的にPR活動を行う。また、試験の実施時期や日程、出題科目や選考方法などを見直し、新たな受験者層の開拓や民間企業志望者も併願できるような制度の導入などを検討し、より優秀な人材の確保に努めたい。



自治体による スマホアプリ活用

㊦ 福部議員 市民ニーズや目的に即したスマートフォンアプリを積極かつ効果的に運用する考えは。

㊦ 市長 スマホアプリを含め、さまざまな情報媒体や伝達手段を選択または組み合わせ、効率よく情報の送受信ができ、また、今後少子高齢化が進む中、ひとり暮らしの高齢者等が情報弱者となるリスクを低減させる手法をさらに調査研究し、有事には有効に、また平時にも活用できる情報インフラを目指し、整備したい。

生活困窮者自立支援 モデル事業の継続を

㊦ 神田議員 生活困窮者自立支援モデル事業は、長期の運営が必要となるが、今後、事業の規模はどうなるのか。

㊦ 市長 この事業は、生活保護に至る前段階の自立支援策の強化を目的としており、長期的な支援が必要である。だが、モデ

ル事業は全額国庫補助だったが、新年度の事業では補助率が引き下げられるため、市の負担が増える。このため、現状規模を維持することは難しい。委託先や関係機関と連携し、効率的な事業運営に努めたい。



相談窓口（ひまわりセンター1階）

地域担当職員 全コミュニケーションに

㊦ 尾崎議員 今後の市政を見据え、地域に関わる事業を始めるというのであれば、全コミュニケーションに導入すべきではないか。

㊦ 市長 この制度はコミュニケーションと市役所、双方の資質、機能を高めることを目的としていることから、お互いがメリットを期待する中で導入すべきであり、導入に当たっては、市から

一方的に押しつけるのではなく、制度の目的や内容を十分に理解していただいたうえで、コミュニケーションの意向を尊重すべきと考えている。

インフルエンザ 予防接種の一部助成を

㊦ 横川議員 インフルエンザ予防接種費用の一部助成制度を設ける考えは。

㊦ 市長 本市では予防接種法施行令により、①65歳以上の高齢者②心臓、腎臓または呼吸器に機能障害がある60歳以上65歳未満の方③ヒト免疫不全ウイルスによって免疫機能に一定以上の障害がある60歳以上65歳未満の方に、インフルエンザ予防接種の一部助成を行っている。それ以外の方への助成は現時点では困難であるが、国の動向を見ながら、今後の検討課題としたい。

丸亀城大手門前

歴史的見どころを

㊦ 片山議員 丸亀城大手門前の物産館計画を変更し、多賀越中の武家屋敷を復元し、歴史資料

の展示や県内物産の販売を行う新たな観光拠点としての機能を果たせてはどうか。

㊦ 産業文化部長 現在、丸亀城大手門前の市民ひろば周辺を整備し、（仮称）うちわの常設展示館・物産館の建設について協議を行っている。デザインや機能、展示内容について議員の提案も参考とし、本市の新たな観光拠点となるように検討していきたい。



丸亀城大手門前

児童生徒の 食生活の状況は

㊦ 松浦議員 児童生徒の食生活の改善のため「早寝・早起き・朝ごはん」運動に取り組んでいるが、どのような状況か。

㊦ 教育部長 平成17年度から毎



こんぴら街道ポケットパーク

遍路ブームを生かした 丸亀の魅力発信を

年実施しているアンケートによると、毎日朝食を食べる、早寝早起きをする、嫌いな食べ物でも食べようとすると回答した児童生徒数はいずれも増加している。今後も「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、児童生徒の食生活をはじめとした基本的生活習慣の確立に取り組んでいきたい。

○ 藤田議員 遍路ブームで全国から多くのお遍路さんが来ている。おもてなしで、丸亀の魅力を発信してはどうか。

△ 市長 全国から来られたお遍路さんとの交流は、観光振興や地域の活性化につながると考えている。現在、市民ひろばに建

合併10周年PR

シンボルマークの活用を

設を計画している（仮称）うちわ記念館・物産館内にお遍路さんの接待や交流を行うスペースの設置を検討するなど、お遍路さんのおもてなしを通じた本市の魅力発信に取り組んでいきたい。

○ 水本議員 瀬戸内国際芸術祭では関係者がオリジナルTシャツを着用してイベントを盛り上げた。合併10周年記念事業でも職員がシンボルマーク入りのTシャツを着用し、市が一体となった取り組みであることをアピールしてはどうか。

△ 市長公室長 現在のところ、シンボルマークが入った名札を職員が着用し、合併10周年のPRに努める予定としている。職員が着用するTシャツなどのユニフォーム作成については、今後検討していきたい。

丸亀で

起業しやすくなる施策を

○ 内田議員 丸亀で事業を起こ

しやすくなるような施策はあるのか。また、融資制度に今以上の工夫が必要ではないのか。

△ 産業文化部長 本市では産業振興計画に基づき、販路開拓などに取り組む中小企業への補助や創業者向けの新風融資制度の実施など、各種支援を行っている。さらなる支援の充実のため起業家を対象とした補助制度の創設を検討する。融資制度についても関係機関と協議し、さらに利用しやすい制度となるよう整備をしていきたい。

ネット社会に 即した研修を

○ 佐野議員 市職員や教職員の情報ネットワークに関する知識や能力の向上が必要だと考えるが、市の見解は。

△ 総務部長 市職員には情報セキュリティをはじめ、各種の研修を実施している。今後も時代に即した研修を実施していきたい。

△ 教育部長 近年、児童生徒がインターネット上のトラブルに巻き込まれる事例が多くなっている。教職員にネットトラブル

などに関する研修を実施し、児童生徒への指導に役立てたい。

障害者の移動支援 施策充実を

○ 中谷議員 障害者施策の福祉タクシーの助成券をその場で使える金券とし、せめて初乗運賃程度に引き上げることと、対象者を身障手帳2級にも広げることとを求める。また、リフトカーの貸し出しを行い、障害者の移動支援の充実を求める。

△ 健康福祉部長 福祉タクシーは金券方式への変更を検討する。対象範囲の拡大と助成額の引き上げは難しい。

△ 市長 リフトカーは新年度の実施に向けて社会福祉協議会と協議する。



社会福祉協議会のリフトカー

総務委員会

7月
7～9日

蒲郡競艇
西尾市
一宮市

西尾市の 公共施設再編計画

西尾市は、合併協議の「新市基本計画」に、公共施設の統合と適正配置の方針が示されるなど、早い段階から将来を見据えた合併協議を行っていました。合併当初から専任チームを立ち上げ、ロードマップの作成、公共施設概要調査の取りまとめ、パブリックコメントを経て「西尾市公共施設再配置基本計画」を策定。その後、公共施設の劣化調査、白書の改定、第一次実



新西尾市庁舎の広いロビー



プロジェクターを使って報告

施計画を策定し、並行して公共施設再配置モデル事業など「見える化」をキーワードにプロセスの明示化と市民への浸透に力を入れていく点が特徴的でした。またメールによる意見提出の手法や、西尾式PFIなど、市民と共に、また、地域で公共施設の再配置を考えていることを強く感じました。

これら市民の意見を取り入れるなど、すぐれた基本戦略を本市の大手町周辺整備に取り入れられるよう、検討を進めてまいります。

生活環境委員会

7月
16～18日

相模原市
小田原市
生駒市

相模原市南清掃工場

相模原市は、ごみ処理の基本方針として、4Rの推進と循環型スタイルの確立、資源を循環させる社会システムの構築、市民・事業者・行政の協働によるごみを出さない環境づくりを掲げていました。

さらに、一般廃棄物最終処分場の延命化促進のため、排出される灰から溶融スラグを生成し、道路資材として公共事業への活用を図っていました。



工場内を見学

小田原市消防の広域化

消防広域化について、平成25年3月31日に、神奈川県西部地区2市5町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、

山北町、開成町）で実施。消防広域化により、小田原市消防と足柄消防組合の二つの組織が統合されました。事務は小田原市に委託しています。職員身分の関係もあり、事務組合ではなく事務委託としたようでした。



小田原市での説明

生駒市の 空き家・空き地対策

生駒市では、周辺住民の安全を守るため、条例に代執行を明記したそうですが、条例に代執行を入れることで、空き家を維持管理していかなければならないという空き家に対する意識改革や啓発など、市民へのPRにもなるとのことでした。条例制定後は、所有者調査が条例を根拠にできるようになりました。

都市経済委員会

7月
22～24日

姫路市
泉南市
神戸市

都市経済委員会は「お城を中心とした観光施策」で姫路市、「水道料金の制度と改正」で泉南市、「有害鳥獣対策」で神戸市を視察しました。

姫路市では、ゆるキャラを使つての全国キャラバンやお城周辺での姫路ゆかたまつりなどのイベントを行っています。また、外国人客が増加しているので、観光パンフレットは、中国語・韓国語・フランス語で作成し、各観光施設は日本語・英語の表記としています。

丸亀城もここ数年観光客が増え、外国人向けに観光パンフレットなどの外国語表記や外国語を話せるスタッフの確保などを検討する必要性を感じました。

泉南市では、浄水場の維持管理、耐震化、水の取水量、人員の問題などを考慮し、平成26年度から大阪広域水道事業団より100%受水しています。

今後の水需要の低下、節水意識の高まりなどを考慮して、制度と料金の改定を行ってきてお

り、丸亀市の当面の課題（水道の広域化、水道料金改定）を考えるうえで参考になりました。

神戸市では、多発するイノシシなどの被害に対し、市がイノシシ・鹿・ヌートリア・鳥類は猟友会に、アライグマは猟友会と捕獲事業者に捕獲を委託し、それらの事務を行うための鳥獣被害対策実施隊を設置しています。さらに、市街地にもイノシシが出没するので、①委託業者によるパトロールを行い、注意喚起や啓発②専門知識や技術を有する民間業者による追い払いを行い、個体数を減らす取り組み③餌付けをしている人を発見すれば、パトロール業者が指導を行い、なおも継続すれば勧告を行う、という餌付け禁止条例の制定などを行っています。今後、勧告にも従わない場合は、公表できるように条例改正を検討しています。

近年、増加する丸亀市での有害鳥獣被害に対する施策について大いに参考になりました。

教育民生委員会

10月
20～22日

名張市
横浜市
秦野市

本年4月から、生活困窮者自立支援法による支援制度が開始されます。そのため三重県名張市の「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を視察しました。生活困窮者の支援にいち早く取り組んできた名張市の相談者への対応状況や支援上の課題について具体的に説明があり、先進市の事例は参考になりました。

横浜市では「学校課題解決支援チーム」について研修しました。本市でも学校教育サポート室が設置され、教育現場で起こる様々な問題を解決するための支援を行っています。今回の研



横浜市での研修

修では、専門家との連携方法など、本市サポート室の運営上で参考になる話を聞くことができました。神奈川県秦野市では「認定こども園」を視察しました。



秦野市立つるまきこども園

市立つるまきこども園の園長から、こども園の設置に当たり、不安や疑問を持つ保護者にとのように対応したか、職員の意思統一をどのようにしたのか——などの説明を受けました。保護者や市民の方

への丁寧な説明が重要であることを改めて認識しました。

常任委員会では、市政発展に資するため、先進事例を視察し、調査・検討を行っています。

教育民生委員会

H26.11.19

誠心保育園はらだ分園を視察

耐震補強・改修工事完了

ゼロ歳児の
受け入れが
可能に

はらだ分園 視察の様子



ゼロ歳児室の設置工事に伴い、沐浴設備と調乳室の設置、床暖房の工事も行われました。



誠心保育園はらだ分園

(認可年月日 平成26年4月1日)

昨年の11月19日、誠心保育園はらだ分園の耐震補強および改修工事が完了したことを受け、教育民生委員会による視察を行いました。

近年、ゼロ歳児の入所希望者は増加傾向にあり、入所希望者に対して受け入れ可能数が不足している状況にあります。

耐震補強と改修工事が完了したことによって、安心した保育サービスの提供とゼロ歳児の受け入れが可能となり、待機児童の減少に向けた運営が期待されます。



子どもがよく利用する階段や遊具付近など、工事箇所以外にも気になるところがあるかどうか、目を通しました。

耐震補強をした遊戯室を視察しました。子どもたちの大切な「命」に関わる事だけに、委員も真剣です。



一生の宝物

昨年、高倉健さんがお亡くなりになりました。映画を通じて皆さんの思い出がある中、あるエピソードが紹介されていました。

東日本大震災の3日後、歯を食いしばりながら大きなペットボトルで水を運ぶ少年の写真が新聞に載りました。その少年と高倉健さんとは手紙のやり取りがあったのです。少年に「常に被災地を忘れないことを心に刻もうと撮影に臨んでいました」「遠くからですが、あなたの成長を見守っています」という温かい言葉。少年は、くじけそうな時に、その言葉を思い出したそうです。そして高倉健さんが亡くなって「自分のようにこの手紙で勇気づけられる人もいるかもしれない」と公開しました。実は私もこの写真を当時見て、「被災地に行かなければ」と、ボランティアに行きました。少年に手紙を宛てた高倉健さんの想い、それを支えに頑張っている、悲しいことを思い出さなくていい、気仙沼を楽しんでいるところ、にしたいと元気に語る少年の姿。これは、私の一生の宝物です。

広報広聴副委員長 加藤正員